

## 筑波会議にて CRICED が SEAMEO、文部科学省と共に

### ASEAN-日本友好 50 周年特別セッションを開催

---

2023.10.13

ASEAN-日本友好 50 周年を記念する年である 2023 年の筑波会議において、筑波大学教育開発国際協力センター（CRICED）は東南アジア教育大臣機構（SEAMEO）共催のもと、今後の東南アジアと日本の次世代に向けたさらなる教育の質推進を目指す協働を図ることを目的とした ASEAN-日本友好 50 周年記念特別セッションを開催しました。「次世代の持続的発展のための革新的な教育活動： SEAMEO 域内と日本におけるベストプラクティスの共有」というテーマの下、東南アジア諸国と日本の初等・中等教育における革新的な取り組みの成功事例を共有し、地球市民として新世代の課題にどう対応するかについて議論しました。セッションはハイブリッド形式で行われ、42 か国から 1000 名以上の事前登録がありました。

開会では、Habibah Abdul Rahim（ハビバ アブドゥル ラヒム） SEAMEO 事務局長が ASEAN 域外提携機関で最も貢献する機関であると CRICED を紹介され、田淵 エルガ 文部科学省大臣官房国際課教育改革調整官が文部科学省事業を CRICED が実施してきたこと、文部科学省が推進している ESD-Award について紹介され、本学 池田 潤 副学長（国際担当）が、SEAMEO と文部科学省との協働に謝意を述べられました。国際局東南アジア台湾地域責任者 野村 名可男 准教授によるモデレーションのもと、東南アジア諸国と日本の初等・中等教育における新世代の課題への対応について思索を深めました。

ASEAN 諸国からは、2019 年～2022 年の 4 年間の ESD-Award 第 1 位受賞校（2019 年度：フィリピンより South Hill School, Inc.、2020 年度：マレーシアより SM St Patrick, Tawau、2021 年度：シンガポールより Kranji Secondary School、2022 年度：フィリピンより La Filipina National High School）の生徒や教員による革新的な教育活動のプレゼンテーションが行われました。続いて日本からは、これまで文科省の SGH 事業などにおいて日本の基幹校となってきた筑波大学附属坂戸高校の生徒と教員がそれぞれの学校の革新的な取り組みの成功事例の実践報告を行いました。このような形で複数年度を受賞者が一堂に会し、互いの実践報告をする機会は今回が初めてで、質疑セッションでは参加生徒や教員が意見交換をする場面もあり、今後の更なる協働への第一歩となりました。

<関連リンク>

会議動画 <https://www.youtube.com/watch?v=uXQcIB3DGk8&t=553s>

筑波会議サイト [筑波会議セッションウェブサイト](#)



集合写真

Commemorative session for the 50th Year of ASEAN-Japan Friendship and Cooperation Part 1  
**Innovative Educational Activities for the Sustainable Development of the Future Generation: Sharing the Best Practices from the SEAMEO region and Japan**

Guest Speakers			Moderator	General MC
				
<b>Habibah Abdul Rahim</b> Director, SEAMEO Secretariat	<b>TABUCHI MIYUKI Helga</b> Director, Office for International Strategy Planning, MEXT	<b>Jun IKEDA</b> Vice President for Global Affairs, University of Tsukuba	<b>Nakao NOMURA</b> Regional Director for Southeast Asia, Bureau of Global Initiatives, University of Tsukuba	<b>Nao ISHIHARA</b> CRICED Secretary-officer, Bureau of Global Initiatives, University of Tsukuba

左から、ゲストスピーカー Habibah Abdul Rahim（ハビバ アブドゥル ラヒム） SEAMEO 事務局長、田淵 エルガ 文部科学省大臣官房国際課教育改革調整官、本学 池田 潤 副学長（国際担当）、モデレーター国際局 野村 名可男 東南アジア・台湾地域責任者、総合司会 国際局 石原奈保



各学校による発表の様子：左上より時計回りに South Hill School, SM St Patrick, Tawau, 附属坂戸高校, Kranji Secondary School, La Filipina National High School